

平成21年3月6日

各 位

「長崎コレクション3 親和銀行コレクション展」開催のお知らせ
～ 創業130周年記念事業 ～

株式会社 親和銀行（本店：佐世保市、頭取：鬼木和夫）は、おかげさまで平成21年2月15日に創業130周年を迎えました。

弊行では、昨年9月よりこの創業130周年を記念し、長崎県を主要営業基盤とする地域金融機関として様々なCSR（企業の社会的責任）活動を行っております。

今回は、その記念事業の一環として長崎県美術館（長崎市出島町）において、当行所蔵の美術品による「親和銀行コレクション展」を開催いたしますので、お知らせします。

記

【開催概要】・・・詳細につきましては、別紙をご参照ください。

1. 開催期間 平成21年4月23日（木）～平成21年7月26日（日）
2. 開館時間 10:00～20:00
3. 開催場所 長崎県美術館 常設展示室第1・2・4室
4. 休 館 日 毎月第2・4月曜日（祝日の場合は火曜日）
※4月27日（月）は臨時開館
5. 観 覧 料 有料（一般 400円、大学生・70歳以上300円、小中高生200円）
※長崎県内の小中学生は無料
6. 展示作品 約80点（近現代美術、陶磁器、イコンの3部構成）

※関連企画として講演会および学芸員によるギャラリートーク等の開催を予定しております。

【当行所蔵の美術品について】

当行は、古くは創業期より、地方の貴重な文化財の散逸を防ぎ、かつ未来への遺産として残すことを目的として、郷土芸術家の作品を中心に美術品の収集・収蔵を実施してまいりました。

今般、創業130周年を記念し、長崎県美術館の企画（「長崎コレクション3」）において、弊行のコレクションを広く一般の方々に鑑賞いただく機会を設けさせていただきました。

なお、外部施設における弊行コレクションの一般公開は初めての試みでございます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先	（株）親和銀行 経営管理部 山川 Tel0956(23)3579
美術展(企画・内容等)に関するお問合せ先	長崎県美術館 広報 山下 Tel095(833)2110



SHINWA BANK
COLLECTION

長崎コレクション3

梅原龍三郎〈ひまわりと李朝画〉1975年

親和銀行コレクション展

2009年4月23日|木|—7月26日|日|

開館時間 10:00-20:00(入場は19:30まで) 会場 長崎県美術館 常設展示室第1・2・4室

休館日 毎月第2・4月曜日(祝日の場合は火曜日) ※4月27日(月)は臨時開館

観覧料 一般400円(320円)・大学生・70歳以上300円(240円)・小中高生200円(160円) ※県内の小中学生は無料(美術館コレクション展観覧料)

※1団体は20名以上の団体割引料金

※学校行事の一環として、長崎県内の小・中・高・盲・ろう・養護学校生が利用する場合は、引率の教員を含め、無料。

※障害者手帳(持参者および介助者)は5割減額。

※シニアの協賛人 展覧会期間(4月4日—6月14日)のチケットで観覧できます(ただし、展覧会会期中に限りです)。

【主催】長崎県美術館

【後援】長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎県教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎県立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、

長崎県民会館、長崎県民会館、N20長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

【協賛】FFG ぶくおかフィナンシャルグループ

130年

親和銀行

長崎県美術館



Nagasaki Prefectural Art Museum

親和銀行コレクション展

親和銀行創業130周年を記念し、同行が所蔵する絵画、彫刻、陶磁器などを特別にお借りして公開いたします。

本展覧会では貴重なコレクションの中から厳選した約80点の作品を、近現代美術、陶磁器、イコンの三部構成でご紹介します。第一部は近代洋画を代表する岡田三郎助の静謐な裸婦像や梅原龍三郎の色彩豊かな静物画、日本画の大家東山魁夷や平山郁夫の作品など絵画や彫刻の名品が並びます。第二部は江戸時代、有田を中心に生産された古伊万里をはじめとする陶磁器を展示します。濁手といわれる乳白色の素地に余白を生かし左右非対称の構図で絵付けされた柿右衛門様式、染付けに鮮やかな金、赤、緑、黄を用いて器面の大半を埋め尽くす豪華絢爛な金襴手様式など様々な古伊万里をご覧ください。さらに、肥前の地で代々続く酒井田柿右衛門(12代13代)、中里太郎右衛門(12代)、今泉今右衛門(12代13代)の作品には長年培われてきた美と技をご堪能いただけることでしょう。第三部のイコン(聖像)はキリストや聖母マリアの姿を描いたもので、東方教会の人々にとって礼拝の対象となっています。

普段は一般公開されていない親和銀行のコレクション。この機会に是非ご鑑賞下さい。



③



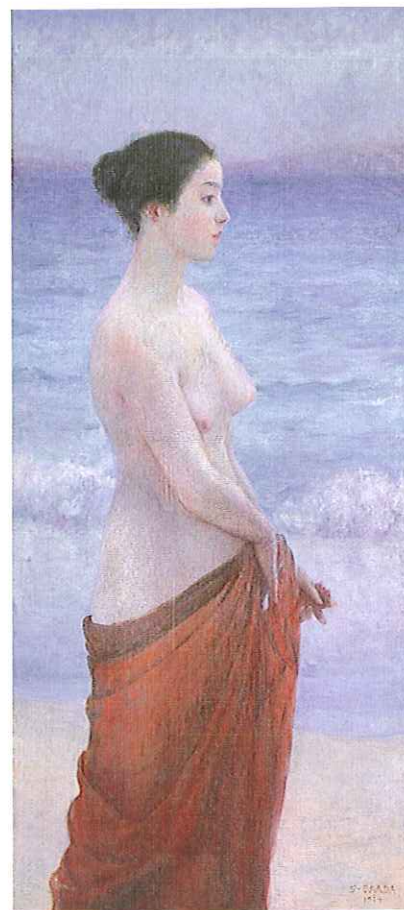
②



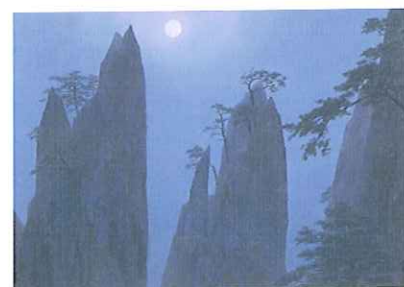
④



①



⑤



⑥

- ⑤ 岡田三郎助《海辺裸婦》1914年
- ⑥ 東山魁夷《月明》1979年
- ③ 《最後の晩餐》1800年頃
- ② 《染付芙蓉手VOC文字入大皿》1700-1740年代
- ④ 《色絵菊牡丹龍文金具付蓋付大鉢》1700-1730年代
- ① 《色絵花龍図唐文八角大壺》1700-1730年代

関連企画

講演会「長崎から世界に輸出された古伊万里」

講師 大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館特別学芸顧問、前館長)
日時 5月23日(土) 14:00~16:00
場所 1ホール ※聴講無料
定員 先着100名

学芸員によるギャラリートーク

日時 日曜日 15:00~15:30
場所 常設展示室 ※参加無料、ただし本展の観覧券が必要

交通のご案内

路面電車 | 出島電停より徒歩3分・市民病院前電停より徒歩2分
バス | 長崎新地バスターミナルより徒歩5分、
長崎市コミュニティバスららん「長崎県美術館」下車
JR | JR長崎駅より徒歩15分
フェリー | 長崎港大波止ターミナルより徒歩10分

駐車場情報

左記のP駐車券を受付にご提示下さい。美術館を(企画展・美術館コレクション展・カフェ・ミュージアムショップ等)ご利用になった場合、駐車料金を割引いたします。入庫して3時間まで30分毎/50円

親和銀行の歩み

- 1879年(明治12) 前身の第九十九国立銀行設立(平戸市)
- 1907年(明治40) 佐世保銀行設立(旧早岐銀行)(佐世保市)
- 1918年(大正7) 佐世保商業銀行設立(旧糸山銀行)(佐世保市)
- 1925年(大正14) 佐世保商業銀行が佐々銀行(佐々町)を合併
- 1926年(昭和元) 大村銀行設立(西州・彼杵・波佐見の3行合併)(大村市)
- 1927年(昭和2) 佐世保銀行が相模銀行・殖産銀行・折尾銀行(佐世保市)、瀬戸銀行・西高銀行(西海市)を合併
- 1931年(昭和6) 攻島銀行が長与銀行・岡田銀行(大村市)を合併
佐世保銀行が肥前銀行(島原市)の業務を継承
- 1939年(昭和14) 佐世保銀行と佐世保商銀が合併し親和銀行設立(佐世保市)
- 1940年(昭和15) 志佐銀行(松浦市)を合併
- 1941年(昭和16) 大村銀行・玖島銀行(大村市)、九十九銀行(平戸市)を合併
- 1943年(昭和18) 佐世保貯蓄銀行(佐世保市)を合併
- 2003年(平成15) 親和銀行と九州銀行が合併(銀行名:親和銀行)
- 2007年(平成19) ふくおかフィナンシャルグループ入り
- 2009年(平成21) 親和銀行創業130周年
(注)銀行名後の地名は本店所在地を現在の行政区分にて記載

